

# 感 染 症 週 報 [ 市内週報 平成21年第26週 ]

結核・感染症発生動向調査

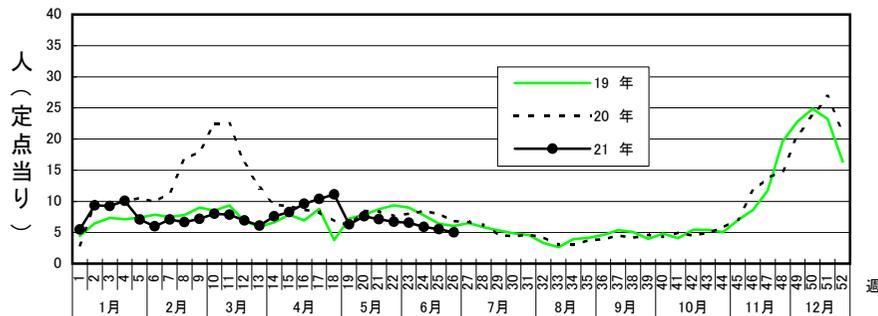
平成21年6月30日

平成21年第26週感染症発生状況【川崎市内】

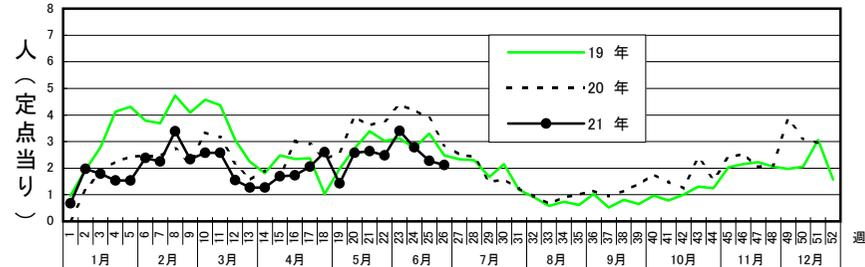
平成21年6月22日～平成21年6月28日

5類感染症(定点把握疾患)	全数把握疾患	届 出	累計(平成21年第1週以降)
<p>第26週で報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 伝染性紅斑の順となっています。</p> <p>ヘルパンギーナが4週連続で増加しており、今週は前週の約2倍(報告数25件、定点あたり0.76)となっています。例年、7月にピークを迎えるため、今後の発生動向には注意が必要です。</p> <p>同様に、夏に増加する手足口病も増加の傾向を示しています。季節性のインフルエンザは報告数が前週の報告数14件から3件と減少しました。</p> <p>一方、新型インフルエンザの報告は14件ありました。</p>	1類感染症	なし	なし
	2類感染症	結核 8件	結核 185件
	3類感染症	なし	細菌性赤痢 2件 腸管出血性大腸菌感染症 5件
	4類感染症	オウム病 1件 レジオネラ症 1件	A型肝炎 1件、オウム病 1件 デング熱 1件、レジオネラ症 2件
	5類感染症	麻しん 1件	アメーバ赤痢 6件 ウイルス性肝炎 1件、急性脳炎 1件 クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 後天性免疫不全症候群 9件 ジアルジア症 2件 髄膜炎菌性髄膜炎 1件 梅毒 4件、風しん 1件、麻しん 14件
新型インフルエンザ等感染症	新型インフルエンザ 14件	新型インフルエンザ 34件	

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



H21年麻しん年齢群別発生報告数(診断週で集計)

	26週	累計		26週	累計
0歳	0	1	10～14歳	1	3(3)
1歳	0	1	15～19歳	0	1(1)
2歳	0	1(1)	20～24歳	0	2(2)
3歳	0	0	25～29歳	0	0
4歳	0	1(1)	30～39歳	0	1(1)
5歳	0	0	40～49歳	0	1
6～7歳	0	0	50歳以上	0	1
8～9歳	0	1(1)			

( )内の数字は予防接種歴有の人数

川崎市区別の麻しん発生状況(診断週別集計)

